



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立桑園小学校

読書センターとしての機能

■開放図書館の司書、ボランティアさんによる人形劇

感染症対策のためにしばらく行われていなかった読み聞かせが、今年度復活しました。今回は、2年生、3年生の子どもたちを対象に行われました。ナレーションや役柄の声、効果音、人形などの動き、舞台が一体となり、



参加した児童は、『3びきのやぎのがらがらどん』の世界に浸っていました。本の世界の広がりを感じていたようです。



学習センターとしての機能

■4年生の国語『中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書く』

教科書の説明文「世界にほこる和紙」について学習した後、伝統工芸の良さを伝えるためのリーフレットづくりを行いました。自分でくわしく調べたい伝統工芸を選び、百科事典や伝統工芸がのっている本などで情報を集めていました。子どもたちは、百科事典での調べ方を理解し、必要な知識や情報を得るための読書を意欲的に行っていました。



情報センターとしての機能

■開放図書館のボランティアさんによる昼の放送読み聞かせ

「7」のつく日には、給食時間に「くわのみからのおくりもの」として、読み聞かせが行われています。子どもたちは、給食を食べながら楽しそうに聞き、本の世界を味わっています。また、図書室には読み聞かせた本について紹介した掲示物があり、楽しさをもう一度味わいたい子どもたちが、すぐに手に取ることができるようになっています。

